

令和3年度計画「もがみ型」護衛艦7番艦「によど」 引渡式・自衛艦旗授与式

令和7年5月21日（水）、長崎県長崎市に所在する三菱重工株式会社長崎造船所にて、護衛艦「によど」の引渡式が行われました。

これに引き続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長 渡邊大志郎 2等海佐指揮の下、乗組員は毅然とした態度で乗艦し、配備先である呉に向け出港しました。

同艦は、平成30年度から建造を開始したガスタービン主機とディーゼル主機を組み合わせた推進方式であるCODAGを採用した「もがみ型」護衛艦の7番艦であり、基準排水量3,900トン、全長133.0メートル、最大幅16.3メートル、深さ9メートル、速力30ノット以上の最新鋭の護衛艦となっています。

また、「によど」は、姉妹艦のなかで初めて、垂直ミサイル発射システム（VLS）を就役時から搭載していることが特徴となっています。

同艦は、令和4年6月起工、令和5年9月進水後、ぎ装工事及び海上公試を行いました。長崎防衛支局は同艦の完成に対し建造工事の監督及び検査を担当しました。



▲防衛装備庁代表へ引渡書を手渡す。



▲初代艦長へ自衛艦旗を授与



▲乗組員による自衛艦旗掲揚



▲出港する護衛艦「によど」